

公認心理師の基礎と実践

2018 年 3 月刊行開始

全23巻刊行！

野島一彦・繁柁算男 監修

(九州大学名誉教授・(東京大学名誉教授・
跡見学園女子大学) 慶応義塾大学)

tomi
shobo
遠見書房

心理学を学ぶすべての方へ

読者の皆様へ
(監修者より)



2018 年度より公認心理師の経過措置による国家資格試験が始まり、同時に新大学 1 年生に向けた公認心理師養成カリキュラムも始まります。

3 万人を割ったとは言えまだまだ高止まりの自殺者、うつ病患者の増加、いじめや不登校などの学校問題の複雑化、人間関係の希薄化など、現代日本には様々な問題が存在し、それらの問題の解決のために、私たち心理学徒に対する社会的な要請はますます強まっています。また、心理学はそのような負の状況を改善するだけでなく、より健康な心と体を作るため、よりよい職場を作るため、あるいは、より公正な社会を作るために、ますます必要とされる時代になっております。

こうした社会状況に鑑み、心理職の国家資格化がスタートしますが、公認心理師の養成は喫緊の非常に大きな課題と言えます。

そこで、私たち監修者は、ここに「公認心理師の基礎と実践」という名を冠したテキストのシリーズを刊行し、公認心理師を育てる一助にしたいと願いました。

このシリーズは、公認心理師養成カリキュラムに沿って 23 巻からなっています。私たち心理学者・心理臨床家たちが蓄えた知識と経験を新しい時代をつくるであろう学生たちに伝えることは使命であり、そのエッセンスがこのシリーズに凝縮しております。

新しい時代をつくるテキストシリーズ

各巻の目次予定

第1巻 公認心理師の職責	
野島一彦（九州大学名誉教授、跡見学園女子大学）（編）	
1章	公認心理師の役割（跡見学園女子大学）野島一彦
2章	公認心理師の法的義務・倫理（帝京大学）元永拓郎
3章	クライアント／患者らの安全の確保のために（聖徳大学）山口豊一
4章	情報の適切な取り扱いについて（明治学院大学）金沢吉展
5章	保健医療分野における公認心理師の具体的な業務（埼玉メディカルセンター）花村温子
6章	福祉分野における公認心理師の具体的な業務（佐賀県立虹の松原学園）高橋幸市
7章	教育分野における公認心理師の具体的な業務（九州大学）増田健太郎
8章	司法・犯罪分野における公認心理師の具体的な業務（福島大学）生島 浩
9章	産業・労働分野における公認心理師の具体的な業務（東京カウンセリングセンター）菅野泰蔵
10章	支援者としての自己課題発見・解決能力（文教大学）小林孝雄
11章	生涯学習への準備（九州大学）板東充彦
12章	多職種連携・地域連携（青山学院大学）小俣和義
13章	公認心理師の今後の展開（山形大学）宮崎 昭

第2巻 心理学概論	
繁樹算男（慶應義塾大学、東京大学名誉教授）（編）	
1章	心理学の歴史と成り立ち（立命館大学）サトウタツヤ
2章	心の生物学的基盤（自治医科大学）高瀬賢吉
3章	感覚・知覚（東京大学）村上郁也
4章	学習（専修大学）澤 幸祐
5章	記憶（名古屋大学）川口 潤
6章	言語・思考（大阪市立大学）山 祐嗣
7章	動機づけ・感情（宇都宮大学）中村 真
8章	心の発達（お茶の水女子大学）上原 泉
9章	知能（帝京大学）敷島千鶴
10章	パーソナリティ（早稲田大学）小塩真司
11章	社会と個人（東京大学）村本由紀子
12章	心の健康と不適応（東京大学）石垣琢磨

第3巻 臨床心理学概論	
野島一彦（跡見学園女子大学）・岡村達也（文教大学）（編）	
第1部 臨床心理学の成り立ち	
1章	日本の臨床心理（跡見学園女子大学）野島一彦
2章	世界の臨床心理学（文教大学）岡村達也
3章	臨床心理学の全体像（文教大学）岡村達也
第2部 臨床心理学の代表的な理論	
4章	精神分析的アプローチ（東京国際大学）妙木浩之
5章	分析心理学的アプローチ（京都大学）河合俊雄
6章	行動論・認知論的アプローチ（中京大学）坂井 誠
7章	ヒューマニスティック・アプローチ（関西大学）中田行重
8章	シスムズ・アプローチ（東北大学）若島孔文
9章	グループ・アプローチ（南山大学）坂中正義
10章	コミュニティ・アプローチ（上智大学）久田 満
11章	ナラティブ・アプローチ（立命館大学）森岡正芳
12章	非言語的アプローチ（学習院大学）伊藤良子
13章	統合的アプローチ（京都大学）杉原保史

第4巻 心理学研究法	
村井潤一郎（文京学院大学）・駒沢女子大学）藤川 麗（編）	
1章	心理学研究法（文京学院大学）村井潤一郎
2章	実験法の基礎（大正大学）井関龍太
3章	実験法の実際（大正大学）井関龍太
4章	質問紙調査法の基礎（日本大学）篠ヶ谷圭太
5章	質問紙調査法の実際（日本大学）篠ヶ谷圭太

6章	観察法の基礎（東京大学）野澤祥子
7章	観察法の実際（東京大学）野澤祥子
8章	面接法の基礎（大阪大学）野村晴夫
9章	面接法の実際（大阪大学）野村晴夫
10章	検査法（まいんずたわーメンタルクリニック、慶成会老年学研究所）松澤広和
11章	実践的研究法（駒沢女子大学）藤川 麗
12章	精神生理学的研究法（東京大学）滝沢 龍
13章	研究レビュー（香川大学）岡田 涼
14章	研究倫理（明治学院大学）金沢吉展

第5巻 心理学統計法	
繁樹算男（慶應義塾大学）・山田剛史（岡山大学）（編）	
1章	データ、変数、尺度水準（関西大学）脇田貴文
2章	1つの変数の記述統計 山田剛史・（文京学院大学）村井潤一郎
3章	2つの変数の記述統計（早稲田大学）岩間徳兼
4章	推測統計学の基礎（岡山大学）山本倫生
5章	クロス集計表の検定（九州大学）安永和央
6章	2群の平均値差の検定（早稲田大学）中村健太郎
7章	複数の群の平均値差の検定（帝京大学）橋本貴充
8章	重回帰分析（東京大学）宇佐美慧
9章	因子分析（筑波大学）尾崎幸謙
10章	共分散構造分析（金沢学院大学）室橋弘人
11章	その他の多変量解析（山口大学）小杉考司
12章	ノンパラメトリック検定（ヴァージニア工科大学）宮崎康夫
13章	テスト得点の分析（大学改革支援・学位授与機構）登藤直弥
14章	効果量と信頼区間、メタ分析（専修大学）岡田謙介
15章	ベイズ統計学（慶應義塾大学）繁樹算男

第6巻 心理学実験	
山口真美（中央大学）・金沢 創（日本女子大学）・河原純一郎（北海道大学）（編）	

第1部 心理学実験の基礎	
1章	心理学実験とは
2章	独立変数、従属変数、剰余変数
3章	実験計画
4章	論文・レポートの作成
第2部 さまざまな心理学実験	
5章	錯視量の測定
6章	閾値の測定
7章	視覚探索課題と反応時間
8章	鏡映像描写と運動学習
9章	オペラント行動とレスポナント行動
10章	ワーキングメモリの測定
11章	刺激の瞬間呈示と注意機能
12章	生理的指標の心理学
13章	脳活動の測定と心理学
14章	ゲーム論と社会心理学
15章	対人認知と社会心理学

第7巻 知覚・認知心理学	
箱田裕司（京都女子大学）（編）	
1章	知覚・認知心理学とは？（京都女子大学）箱田裕司
2章	感覚（九州大学）光藤宏行
3章	視知覚（九州大学）光藤宏行
4章	聴知覚（九州大学）上田和夫
5章	感性認知（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）河邊隆寛
6章	注意（北海道大学）河原純一郎
7章	記憶（京都女子大学）広瀬雄彦
8章	知識の表象と構造（二松学舎大学）改田明子
9章	イメージの性質と機能（西南学院大学）中村奈良江
10章	問題解決・推論・意思決定（成城大学）中村國則

11 章	認知の個人差	(徳山大学) 小松佐穂子
12 章	知覚・認知の障害	(京都女子大学) 岩原昭彦

第8巻 学習・言語心理学

楠見 孝 (京都大学) (編)

1 章	学習・言語心理学とは	(京都大学) 楠見 孝
2 章	学習の基礎	(関西学院大学) 嶋崎恒雄
3 章	技能学習と熟達化	(京都大学) 楠見 孝
4 章	社会的学習	(法政大学) 渡辺弥生
5 章	問題解決と学習の転移	(青山学院大学) 鈴木宏昭
6 章	動機づけ	(滋賀県立大学) 後藤崇志
7 章	言語の習得	(東京電機大学) 小林春美
8 章	非言語的・前言語的コミュニケーション	(甲南女子大学) 西尾 新
9 章	言語使用と知識	(電気通信大学) 久野雅樹
10 章	言語理解と産出	(くらしき作陽大学) 猪原敬介
11 章	言語と推論	(立命館大学) 服部雅史
12 章	言語と文化	(慶應義塾大学) 今井むつみ

第9巻 感情・人格心理学

杉浦義典 (広島大学) (編)

1 章	感情・人格研究の歴史	
第1部 感情に関する理論および感情喚起の機序		
2 章	動機づけ	(専修大学) 国里愛彦
3 章	基本感情	(青山学院大学) 坂上裕子
4 章	感情と認知的評価	(東海学院大学) 長谷川晃
第2部 感情が行動に及ぼす影響		
5 章	ポジティブ感情の効果	(国立精神・神経医療研究センター) 伊藤正哉
6 章	ネガティブ感情の効果	(同志社大学) 及川昌典
7 章	感情と恋愛・配偶関係	
8 章	感情統制	(富山大学) 佐藤徳
第3部 人格の概念および形成過程		
9 章	人格の遺伝	
10 章	人格の発達	(慶應義塾大学) 高山緑
11 章	人格の社会・進化的要因	(広島修道大学) 横田晋大
第4部 人格の類型、特性等		
12 章	特性論	
13 章	類型論	(福島県立医科大学) 竹林由武
14 章	人格と病理	(立正大学) 高比良美詠子
15 章	認知の個人差	(筑波大学) 望月聡

第10巻 神経・生理心理学

梅田 聡 (慶應義塾大学) (編)

1 章	脳の構造	
2 章	神経システムの基礎	
3 章	神経心理学の方法論	
4 章	生理心理学の方法論	
5 章	視覚・聴覚の障害と評価方法	
6 章	体性感覚と運動の障害と評価方法	
7 章	言語の障害と評価方法	
8 章	情動の障害と評価方法	
9 章	記憶の障害と評価方法	
10 章	注意の障害と評価方法	
11 章	遂行機能の障害と評価方法	
12 章	神経疾患のタイプと障害	
13 章	認知リハビリテーション	
14 章	脳画像研究法：MRI・NIRS・PET	
15 章	脳画像研究法：EEG・MEG	
16 章	自律神経のメカニズムと測定法	
17 章	睡眠の生理	

第11巻 社会・集団・家族心理学

竹村和久 (早稲田大学) (編)

1 章	社会心理学とは何か	(早稲田大学) 竹村和久
2 章	対人認知	(明治学院大学) 宮本聡介
3 章	態度と行動	(明星大学) 林 幹也
4 章	ステレオタイプと偏見	(東京大学) 唐沢かおり
5 章	向社会的行動と反社会的行動	(早稲田大学) 竹村和久
6 章	社会的促進と社会的抑制	(慶應義塾大学) 今井芳昭
7 章	同調と服従	(東京大学) 白岩祐子
8 章	集団過程	(九州大学) 山口裕幸
9 章	社会的相互作用	(神戸大学) 大坪庸介
10 章	対人関係の形成と発展	(追手門学院大学) 金政祐司
11 章	家族の人間関係	(文教大学) 布柴靖枝
12 章	ソーシャルサポート	(追手門学院大学) 浦 光博
13 章	文化と社会心理	(神戸大学) 石井敬子
14 章	集合行動とマスコミュニケーション	(関西学院大学) 三浦麻子

第12巻 発達心理学

本郷一夫 (東北大学) (編)

1 章	発達の過程と変化のメカニズム	(東北大学) 本郷一夫
2 章	知覚・認知の発達	(青森明の星短期大学) 進藤将敏
3 章	言語・コミュニケーションの発達	(尚絅学院大学) 小泉嘉子
4 章	知能の発達	(東北福祉大学) 平川昌宏
5 章	運動の発達	(筑波大学) 澤江幸則・(弘前大学) 増田貴人
6 章	感情の発達	(石巻専修大学) 平川久美子
7 章	気質と性格の発達	(常磐会短期大学) 糠野亜紀
8 章	遊びの発達	(聖和短期大学) 飯島典子
9 章	親子関係の発達	(四天王寺大学) 八木成和
10 章	仲間関係・きょうだい関係の発達	(鳥取大学) 高橋千枝
11 章	自己の発達	(仁愛大学) 鈴木智子
12 章	発達障害と非典型的発達	(京都教育大学) 相澤雅文
13 章	青年期の発達	(弘前大学) 吉中 淳
14 章	成人期・老年期の発達	(東京都健康長寿医療センター研究所) 稲垣宏樹

第13巻 障害者・障害児心理学

柘植雅義 (筑波大学)・野口和人 (東北大学)・

石倉健二 (兵庫教育大学)・本田秀夫 (信州大学) (編)

1 章	障害者心理学とは何か	(筑波大学) 柘植雅義
第1部 身体障害、知的障害及び精神障害の概要		
2 章	身体障害の概要	(兵庫教育大学) 石倉健二
3 章	知的障害の概要	(東北大学) 野口和人
4 章	精神障害の概要	(信州大学) 鷲塚伸介
5 章	発達障害の概要	(明治学院大学) 小林潤一郎
第2部 障害者の心理社会的課題及び必要な支援		
6 章	身体障害者を取り巻く心理社会的課題	(大阪大谷大学) 本吉大介
7 章	知的障害者を取り巻く心理社会的課題	(琉球大学) 田中敦士
8 章	精神障害者を取り巻く心理社会的課題	(東京大学) 高橋美保
9 章	発達障害者を取り巻く心理社会的課題	(京都教育大学) 佐藤克敏
10 章	身体障害者への必要な支援	(静岡大学) 香野 毅
11 章	知的障害者への必要な支援	(東京学芸大学) 奥住秀之
12 章	精神障害者への必要な支援	(山梨英和大学) 小林真理子
13 章	発達障害者への必要な支援	(明星大学) 小貫 悟

第14巻 心理的アセスメント

津川律子 (日本大学)・遠藤裕乃 (兵庫教育大学) (編)

第1部 心理的アセスメントの基本

1 章	心理的アセスメントとは	(日本大学) 津川律子
2 章	心理的アセスメントをめぐる諸概念	(跡見女子学園大学) 酒井佳永
3 章	行動観察	(九州大学) 遠矢浩一
4 章	アセスメント面接	(兵庫教育大学) 遠藤裕乃

5章 心理検査の基礎 (日本大学) 津川律子

第2部 代表的な心理検査の種類と内容

- 6章 質問紙法1 (千歳リハビリテーション大学) 小山充道
7章 質問紙法2と作業検査法 (石川県立看護大学) 武山雅志
8章 知能検査 (元筑波大学) 大六一志
9章 発達検査 (中京大学) 明畚光宜
10章 投映法 (大阪樟蔭女子大学) 高橋依子

第3部 心理的アセスメントの実際

- 11章 検査バッテリー (名古屋大学) 森田美弥子
12章 包括的解釈と報告 (広島国際大学) 田形修一
13章 各分野における心理的アセスメントの実際 (架空事例)
13-1 保健医療分野 (大石記念病院・野口クリニック) 福田由利
13-2 福祉分野 (千葉中央児童相談所) 渡辺 直
13-3 教育分野 (北海道教育大学) 佐藤由佳利
13-4 司法・犯罪分野 (京都少年鑑別所) 吉村雅世
13-5 産業・労働分野 (東京理科大学) 松浦真澄
14章 心理的アセスメントの展開 (放送大学) 大山 泰宏

第15巻 心理学的支援法

大山泰宏 (放送大学) (編)

第1部 心理療法

- 1章 心理療法とカウンセリングの発想と歴史
2章 心理療法の特徴と適用範囲
3章 力動的理解にもとづく心理療法
4章 関係性の理解にもとづく心理療法
5章 状況と行動の理解にもとづく心理療法

第2部 コミュニティの中での心理学的支援

- 6章 コミュニティでの心理学的支援の概観
7章 福祉の中での心理学的支援
8章 教育の中での心理学的支援
9章 コンサルテーション
10章 心の健康教育と予防教育

第3部 心理学的支援の実際

- 11章 心理学的支援でのコミュニケーション
12章 個人支援とコミュニティ支援の橋渡し
13章 災害時の心理学的支援
14章 危機介入の心理学的支援
15章 心理学的支援とスーパービジョン

第16巻 健康・医療心理学

丹野義彦 (東京大学) (編)

- 1章 健康・医療心理学の概略

第1部 ストレスと心身の疾病との関係

- 2章 ストレスの心理学と生理学
3章 ストレスによる心身の疾病と行動医学
4章 健康心理学とポジティブ心理学

第2部 医療現場における心理社会的課題及び必要な支援

- 5章 精神科における公認心理師の活動
6章 心療内科・内科における公認心理師の活動
7章 小児科・母子保健領域における公認心理師の活動
8章 神経科・リハビリテーションにおける公認心理師の活動
9章 総合病院のチーム医療における公認心理師の活動
10章 高齢者医療における公認心理師の活動

第3部 保健活動が行われている現場における心理社会的課題及び

必要な支援

- 12章 保健活動の現場と公認心理師

- 13章 健康支援活動

- 14章 自殺予防活動

- 15章 福祉と医療

第4部 災害時等に必要心理に関する支援

- 16章 災害被災者の心理と支援

第17巻 福祉心理学

中島健一 (愛知学院大学) (編)

第1部 福祉対象者への心理支援の必要性とあり方

- 1章 福祉の歴史と現在の福祉施策の概要 (九州女子大学) 大迫秀樹
2章 総論：生活を支える心理支援 (立正大学) 片岡玲子
3章 暴力被害者への心理支援 (立正大学) 米田弘枝
4章 高齢者へ心理支援 (東北福祉大学) 加藤伸司
5章 障害・疾病のある人への心理支援 (宮城学院女子大学) 白石雅一
6章 生活困窮者への心理支援 (愛知学院大学) 中島健一

第2部 福祉心理学的心理支援の実際

- 7章 児童虐待への心理支援の実際 (広島国際大学) 松崎佳子
8章 子どもと親への心理支援の実際 (こどもの虹情報研修センター) 増沢 高
9章 認知症高齢者への心理支援の実際 (日本社会事業大学) 下垣 光
10章 ひきこもり・自殺予防の心理支援の実際 (立正大学) 徳丸 享
11章 精神障害者への心理支援の実際 (山梨県立大学) 大塚ゆかり
12章 家族・職員への心理支援の実際 (西九州大学) 長野恵子・(日本社会事業大学) 藤岡孝志
13章 福祉・介護分野での多職種共働 (IPW) と心理職の位置づけ (愛知学院大学) 城戸裕子

IPW 実践事例報告：

療養型病床での IPW の実際と工夫 (新所沢清和病院) 川瀬里加子
特別養護老人ホームでの IPW の実際と工夫

(認知症介護研究・研修東京センター) 中村考一

児童養護施設での IPW の実際と工夫 (愛知学院大学) 平井裕一

障害児生活介護施設での IPW の実際と工夫

(聖みどり病院・赤塚福祉園) 牛山卓也

母子生活支援施設での IPW の実際と工夫 (愛知学院大学) 太田裕子

第18巻 学校・教育心理学

石隈利紀 (東京成徳大学) (編)

第1部 基礎編

- 1章 教育・学校心理学の意義
2章 子どもの発達課題への取り組みへの援助
3章 子どもの教育課題への取り組みへの援助
4章 スクールカウンセリングと公認心理師：何を援助するか
5章 子どもの多様な援助者とチーム学校
6章 三段階の心理教育的援助サービス：すべての子ども、苦戦している子ども、特別な援助ニーズを要する子ども
7章 発達障害の理解と援助

第2部 実践編：子どもと学校を援助する

- 8章 不登校・引きこもりの理解と援助
9章 いじめの理解と援助
10章 非行の理解と援助
11章 学校の緊急支援・危機支援
12章 学級づくりの援助
13章 学校づくりの援助
14章 地域ネットワークづくりの援助
15章 教育・学校心理学と公認心理師の実践

第19巻 司法・犯罪心理学

岡本吉生 (日本女子大学) (編)

第1部 犯罪・非行についての基礎知識

- 1章 犯罪心理学の歴史
2章 科学的な犯罪捜査と犯罪・非行の予防における心理学
3章 犯罪・非行の心理アセスメント
4章 事実への接近のためのさまざまな心理面接とその技法
5章 犯罪心理学に関する法律と制度

第2部 犯罪心理学における心理支援

- 6章 司法機関における非行少年への心理支援
7章 司法機関における犯罪加害者への心理アセスメントの実際
8章 (新) 矯正施設における加害者臨床

- 2章 科学的な犯罪捜査と犯罪・非行の予防における心理学
(科学警察研究所) 渡邊和美
- 3章 犯罪・非行の心理アセスメント (札幌少年鑑別所) 寺村堅志
- 4章 事実への接近のためのさまざまな心理面接とその技法
(花園大学) 橋本和明

- 5章 犯罪心理学に関する法律と制度
(専修大学) 岩井宜子・(専修大学) 渡邊一弘

第2部 犯罪心理学における心理支援

- 6章 司法機関における非行少年への心理支援
(関西国際大学) 坂野剛崇
- 7章 司法機関における犯罪加害者への心理アセスメントの実際
(駒沢女子大学) 須藤 明
- 8章 (新) 矯正施設における加害者臨床 (東京少年鑑別所) 門本 泉
- 9章 各種犯罪類型の特徴と心理支援 (府中刑務所) 川島ゆか
- 10章 犯罪被害者への心理支援
(警察庁犯罪被害者支援室) 上田 鼓
- 11章 犯罪加害者や非行少年の家族支援と地域支援
(福島大学) 生島 浩

第3部 家事事件の基礎と心理支援

- 12章 家事事件における法律と制度 (早稲田大学) 棚村政行
- 13章 離婚と子どもの心理 (日本女子大学) 岡本吉生
- 14章 離婚後の家族関係と子どもへの支援
(東京国際大学) 小田切紀子

第20巻 産業・組織心理学

新田泰生 (神奈川大学) (編)

第1部 働くことを考える

- 1章 産業・組織心理学の意義と方法 (神奈川大学) 新田泰生
- 2章 企業組織とは何か (元法政大学) 桐村晋次
- 3章 組織における人間の行動—モチベーションとリーダーシップ
(帝塚山大学名誉教授) 森下高治
- 4章 働くことと法 (近畿大学) 三柴丈典
- 5章 ワークライフバランスとキャリア教育 (名古屋大学) 金井篤子
- 6章 産業臨床心理学の視点から (桜美林大学) 種市康太郎
- 7章 産業保健の視点から (北里大学) 島津明人

第2部 働く人への支援

- 8章 従業員支援システム
(EAP コンサルティング普及協会) 市川佳居
- 9章 組織へのコンサルテーションと心理教育
松浦真澄 (東京理科大学)
- 10章 復職支援 (千葉障害者職業センター) 中村美奈子
- 11章 再就職支援・障害者雇用への心理支援
(リクルートキャリアコンサルティング) 馬場洋介
- 12章 職場でのトラウマ・ケア (陸上自衛隊) 藤原俊通
- 13章 産業心理臨床における心理療法1 (島根大学) 足立智昭
- 14章 産業心理臨床における心理療法2 (同志社大学) 武藤 崇

第21巻 人体の構造と機能及び疾病

北村 聖 (国際医療福祉大学)・佐伯由香 (愛媛大学) (編)

- 1章 人体の基本構造と機能
- 2章 恒常性
- 3章 運動器
- 4章 消化器
- 5章 呼吸器
- 6章 循環器
- 7章 血液、造血器、リンパ系
- 8章 腎臓と泌尿器
- 9章 脳と神経系
- 10章 感覚器
- 11章 栄養と代謝
- 12章 内分泌器官とホルモン
- 13章 免疫とアレルギー

- 14章 生殖と老化

第22巻 精神疾患とその治療

神庭重信 (九州大学)・加藤隆弘 (九州大学) (編)

第1部 精神医学概説

- 1章 精神医学の歴史的展望
- 2章 精神医学診断体系

第2部 精神疾患とその治療

- 3章 精神疾患とその治療：総論
- 4章 統合失調症
- 5章 気分障害
- 6章 不安障害
- 7章 アルコール・薬物依存・ネット依存
- 8章 パーソナリティ障害 (未定)
- 9章 発達障害 (九大・児童グループの先生)
- 10章 認知症を含む器質性精神疾患

第3部 精神疾患の治療システムとその背景

- 11章 薬物療法
- 12章 心理療法
- 13章 社会療法
- 14章 予防と早期介入 (メンタルヘルス・ファーストエイド)
- 15章 外来治療
- 16章 入院治療
- 17章 多職種連携・リエゾン
- 18章 脳の仕組みと精神機能 (生物学的理解：特に脳生理学的)
- 19章 バイオ・サイコ・ソーシャルモデル

第23巻 関係行政論

元永拓郎 (帝京大学) (編)・黒川達雄 (法律監修)

- 1章 公認心理師と法・制度の基本
- 2章 公認心理師の法的義務・倫
- 3章 保健医療分野に関係する法律・制度 (1) 医療全般
- 4章 保健医療分野に関係する法律・制度 (2) 精神科医療
- 5章 保健医療分野に関係する法律・制度 (3) 地域保健・医療
- 6章 福祉分野に関係する法律・制度 (1) 児童福祉
- 7章 福祉分野に関係する法律・制度 (2) 障害者福祉
- 8章 福祉分野に関係する法律・制度 (3) 高齢者福祉
- 9章 教育分野に関係する法律・制度
- 10章 司法・犯罪分野に関係する法律・制度 (1) 刑事
- 11章 司法・犯罪分野に関係する法律・制度 (2) 家事
- 12章 司法・犯罪分野に関係する法律・制度 (3) 少年法
- 13章 産業・労働分野に関係する法律・制度
- 14章 いのちを守る法律—生殖医療・自殺・貧困・事故・災害



公認心理師養成カリキュラムに沿った
心理学およびその周辺領域の知識を網羅

最良の編者と執筆陣をセレクト
基礎心理学と臨床心理学のバランスを重視
将来を見据えた重厚な内容

注文書

①公認心理師の職責 18年3月刊	野島一彦編	2,000円	ISBN978-4-86616-051-1	冊
②心理学概論 18年3月刊	繁樹算男編	2,400円	ISBN978-4-86616-052-8	冊
③臨床心理学概論 18年3月刊	野島一彦・岡村達也編	2,400円	ISBN978-4-86616-053-5	冊
④心理学研究法	村井潤一郎・藤川 麗編	2,400円	ISBN978-4-86616-054-2	冊
⑤心理学統計法	繁樹算男・山田剛史編	2,400円	ISBN978-4-86616-055-9	冊
⑥心理学実験	山口真美・金沢 創・ 河原純一郎編	2,400円	ISBN978-4-86616-056-6	冊
⑦知覚・認知心理学	箱田裕司編	2,600円	ISBN978-4-86616-057-3	冊
⑧学習・言語心理学	楠見 孝編	2,600円	ISBN978-4-86616-058-0	冊
⑨感情・人格心理学	杉浦義典編	2,600円	ISBN978-4-86616-059-7	冊
⑩神経・生理心理学	梅田 聡編	2,600円	ISBN978-4-86616-060-3	冊
⑪社会・集団・家族心理学	竹村和久編	2,600円	ISBN978-4-86616-061-0	冊
⑫発達心理学	本郷一夫編	2,600円	ISBN978-4-86616-062-7	冊
⑬障害者・障害児心理学	柘植雅義・野口和人 石倉健二・本田秀夫編	2,600円	ISBN978-4-86616-063-4	冊
⑭心理的アセスメント	津川律子・遠藤裕乃編	2,600円	ISBN978-4-86616-064-1	冊
⑮心理学的支援法	大山泰宏編	2,600円	ISBN978-4-86616-065-8	冊
⑯健康・医療心理学	丹野義彦編	2,600円	ISBN978-4-86616-066-5	冊
⑰福祉心理学	中島健一編	2,600円	ISBN978-4-86616-067-2	冊
⑱教育・学校心理学	石隈利紀編	2,600円	ISBN978-4-86616-068-9	冊
⑲司法・犯罪心理学	岡本吉生編	2,600円	ISBN978-4-86616-069-6	冊
⑳産業・組織心理学	新田泰生編	2,600円	ISBN978-4-86616-070-2	冊
㉑人体の構造と機能及び疾病	北村 聖・佐伯由香編	2,800円	ISBN978-4-86616-071-9	冊
㉒精神疾患とその治療	神庭重信・加藤隆弘編	2,800円	ISBN978-4-86616-072-6	冊
㉓関係行政論 18年5月刊	元永拓郎編	2,600円	ISBN978-4-86616-073-3	冊

お名前 (ふりがな)

お電話番号

ご住所(〒 -)

e-mail

●取扱店

出版元

心と社会の
学術出版



〒181-0002 東京都三鷹市牟礼6-24-12-004
tel.050-3735-8185/fax.050-3488-3894
tomi@tomishobo.com
http://tomishobo.com

編集協力



ちとせプレス

価格(予価)は税抜です
販促用に本パンフレットをお送りします